

教材事例書式

教材教具名 あおむしくんBOX	教科(国語)
-----------------	----------

教材教具写真



教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい あおむしに食べ物を食べさせること通して、お話をより楽しむ
- 2 発達段階 絵本の内容を楽しみながら聞くことができる
- 3 使い方
絵本「はらぺこあおむし」の読み聞かせをしたあと、「お腹のすいているあおむしくんにご飯をあげる」という設定で行う。
児童は4～5種類の食べ物模型の中から自分の好きなものを選び、あおむしBOXの口の中に入れて食べさせる。活動に慣れてきたら口の穴の大きさを小さくしていく。
児童が食べさせるたびに「それでもまだまだおなかはぺっこぺこ」という絵本のフレーズに拍子をつけて歌い、お話をしっかり楽しめるようにする。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)

本学級の児童は絵本「はらぺこあおむし」が大好きであったこともあり、非常に関心の高い学習活動であった。今までの学習では、食べ物模型を使用すると模型に執着して放したがない児童もいたが、この学習では口の中に挿んだ食べ物を入れるとすぐ放し、「食べさせてあげる」という意識が育っていることがうかがえる。

また、はじめはBOXの天井部に食べ物を置いていた児童もいたが、学習を重ねるにつれ徐々に「口はどこか」を考え、口に近い部分に食べ物を差し出すようになっていった。

のちに、全員が食べさせ終わるとBOXに毛布を巻いて「さなぎ」にし、大きな「ちょうちょ」になるという展開も取り入れたが、児童はとてもうれしそうにその様子を見ていた。